

人権教育・啓発用ビデオ一覧表

【ご利用の際の注意事項】

事前に貸出担当課に連絡して、ビデオ名称・利用期間・在庫等を確認のうえ来庁ください。〔月～金(祝日を除く)8:30～17:15〕

貸出料金は無料です。

貸出期間は、原則として2週間以内です。

営利目的に利用する場合の貸出はいたしません。また、著作権の問題がありますので、絶対に複製しないでください。

故意又は重大な過失により破損・亡失した場合は、現物弁償の責任を負います。

平成23年3月現在

田辺市

分類	ビデオの名称	上映時間	所蔵年	主な内容	貸出担当課	電話番号
人権全般	ヒューマンライツ・シンフォニー	40分	1998年	・人権って何、世界人権宣言 ・日本の人権擁護、人権問題	人権推進課	(0739) 26-9912
	世界中のすべての人々のために	30分	1998年	世界人権宣言のできるまで	人権推進課	(0739) 26-9912
	人権ショートストーリー 山本家の場合	13分	1999年	日頃、気づかないままに人を傷つけていることがあります。このような点を様々な事例で紹介した作品。	中央公民館	(0739) 26-4908
	心のメガネ曇ってませんか	20分	2000年	差別や偏見を生み出す思い込みを変えるには…	人権推進課	(0739) 26-9912
	Meet the ヒューマンライツ	27分	2002年	日常生活や社会の中にある人権問題との出会いを発見。・同和問題・女性・子ども・障害者・多様性・ハンセン病・HIV感染者等の問題。	人権推進課	(0739) 26-9912
	こころの交響楽	43分	2002年	人間の尊厳、命の尊さ、自他共によりよく生きる、世間体、高齢者の生きがい。	中央公民館	(0739) 26-4908
	「私」のない私 - 同調と傍観 -	30分	2003年	人権侵害に気づいているのに行動できない私。行動化を妨げている同調と傍観について、ドラマと解説の2部構成で問題提起をしています。人権研修やワークショップでの活用に最適。	人権推進課	(0739) 26-9912
	人権に向き合うための6つの素材	27分	2004年	第1章:男と女(ドメスティックバイオレンス)、第2章:老いと尊厳(高齢者)、第3章:共生(障害者)、第4章:正しく知る(報道被害、HIV感染者等、同和問題)、エピローグ	人権推進課	(0739) 26-9912
	ブレイク ～リカバーできる社会のために～	30分	2005年	自らの心をストレスから解放し、豊かな気持ちで互いの回復を助け合う「リカバーできる社会」を実現するためには今何がみつよなのか…この映像を通してそのヒントを考えます。	人権推進課	(0739) 26-9912
	「私たちの人権宣言」 転校生はおばあちゃん!?	50分	2005年	主人公(中学2年生)たちのクラスに74歳のおばあさんが転校してくる…。おばあさんとの交流を通じ「世界人権宣言」や「子ども権利条約」について学びなら、人権の基本である“命の大切さ”や“相手を思いやる気持ち”を育てます。	人権推進課	(0739) 26-9912
	生きること死ぬこと	22分	2006年	生と死の現場にいる実際の人々取材し、かけがえのない命の尊さを伝え、命を支える家族や周囲の人々の真摯な姿から命の大切さを訴える。	人権推進課	(0739) 26-9912
	えっ！これも人権？	30分	2007年	この作品は日常生活のふとした出来事などを例にあげ、「なるほどこれも人権問題なんだ」とその大切さに気づく4コママンガと実写でわかりやすく構成されています。	人権推進課	(0739) 26-9912
	こころに咲く花	35分	2008年	いじめ構造の中で多数を占める傍観者、観衆たちが一歩を踏み出して、勇気をもって声を発すれば、必ずいじめの解決につながるということを訴えかける。	人権推進課	(0739) 26-9912
日常の人権 日常の人権 (DVD)	23分 23分	2010年	日常生活の中に潜むさまざまな人権問題を取り上げ、ドラマで人々の心にある偏見を、そしてドキュメンタリーで差別や偏見などで苦しむ人々の心の痛みを伝えます。 テーマ:女性の人権・子どもの人権・高齢者の人権 テーマ:外国人の人権・障害者の人権・部落差別・インターネットでの人権侵害	人権推進課	(0739) 26-9912	

分類	ビデオの名称	上映時間	所蔵年	主な内容	貸出担当課	電話番号
同和問題	母の日記	50分	1992年	結婚差別問題、高齢者介護	人権推進課	(0739) 26-9912
	花咲く日	55分	1992年	結婚差別問題	中央公民館	(0739) 26-4908
	春を待つ雪	53分	1995年	結婚差別問題、就職差別問題 出版社(企業)の姿勢	中央公民館	(0739) 26-4908
	おーい!	45分	1997年	結婚差別問題、就職差別問題 同和地区の土地評価	人権推進課	(0739) 26-9912
	根っこのルール	37分	1998年	結婚差別問題	人権推進課	(0739) 26-9912
	雨あがり	55分	1998年	就職差別問題、同和地区の土地 母子家庭や中国人への偏見	人権推進課	(0739) 26-9912
	らくがき	35分	1999年	差別落書き問題	人権推進課	(0739) 26-9912
	新しい世紀にむけて	28分	1999年	特別対策から一般対策へ	人権推進課	(0739) 26-9912
	風かよう道	35分	2000年	迷信・偏見・差別	人権推進課	(0739) 26-9912
	セピア色の風景	55分	2000年	部落差別問題	人権推進課	(0739) 26-9912
	おはようの音が響く街に	35分	2001年	部落差別問題	人権推進課	(0739) 26-9912
	ぬくもりの彩	36分	2003年	突然、障害を持った高齢者との同居を余儀なくされた家族が、同和地区に住む青年との出会いをきっかけにそれぞれが同和地区に対する差別意識の誤りに気づき、人を思いやる心や家族のぬくもりを取り戻していく「心の変化」を描いた作品。	人権推進課	(0739) 26-9912
	同和問題と人権(DVD)	28分	2009年	同和問題をテーマに、ある家族の話し合いを通じて、国や地方公共団体等による施策やいまだ残る差別事象、偏見などをわかりやすく紹介した作品。	人権推進課	(0739) 26-9912
ヒューマン博士と考える ～差別から人権の確立へ～ (DVD)	28分	2009年	小中学校の教科書に同和問題が記述されてから、30有余年が経過しました。この間、教育現場では同和教育が、そして地域社会では啓発が進められ、同和問題の解決に向けて大きな成果を上げてきました。しかし、今なお、部落差別につながる差別意識が根深く残っているという現実があります。本作品は、日本の伝統的な芸能や文化が、差別された人々の生産や労働に支えられてきたことなど、差別された人々の歴史と暮らしに焦点を当てながら、私たちの歴史の中でつくられた偏見や差別の解消につなげていただくことを目的に制作しました。	人権推進課	(0739) 26-9912	

分類	ビデオの名称	上映時間	所蔵年	主な内容	貸出担当課	電話番号
女性	根絶！夫からの暴力	27分	2001年	ひとりで悩んでいませんか 配偶者暴力相談支援センター	人権推進課	(0739) 26-9912
	翔太のあした	54分	2001年	「らしさ」って何？ 男女共同参画	人権推進課	(0739) 26-9912
	あなたと私 対等なパートナー	24分	2002年	日常の言動に観られるセクハラ セクハラのはじめの背景 職場環境づくり	男女共同参画推進室	(0739) 26-4936
	女性の人権を考える	25分	2002年	家庭内暴力はなぜ起きるのか セクハラとDV	人権推進課	(0739) 26-9912
	新しい風	30分	2002年	子どもを虐待してしまう母親や妻を暴力で支配しようとする夫の背景に潜む固定的な性別役割分担意識を取り上げ、家族一人ひとりが、かけがえのない存在であることを理解し、互いに思いやりや優しさを持って暮らすことの大切さを訴えています。	人権推進課	(0739) 26-9912
	21世紀はみんなが 主役	23分	2002年	男女共同参画社会基本法のあらまし	人権推進課	(0739) 26-9912
	人権を考える！女性と子どもと母親	30分	2004年	キャリアウーマンとして働く女性と、幼い子どもをもつ母親が同和問題に直面し、悩みながら、日々の生活の中から誤った知識や偏見のあることに気づき、同和問題をはじめ、女性差別・在日外国人差別など、人権問題を学び差別解消に向かっていく。	人権推進課	(0739) 26-9912
	気づくことがはじめの 一歩	24分	2004年	家庭と地域を舞台に、男女共同参画の意識をもって仕事も、家庭も、子育ても行っている夫婦と、旧来からの役割分担意識をひきづったまま生活している夫婦の2組の家庭生活の様子を対比させながら男女共同参画に対する考え方を視聴者が「気づき」「考える」。	男女共同参画推進室	(0739) 26-4936
	人権の扉をひらく ～気づいていますか？身近な人権～	25分	2005年	・気づいていますか？「思いこみ」の壁(ジェンダーを中心に) ・気づいていますか？「差別」と「偏見」の背景 ・気づいていますか？パワーハラスメントと同調の弊害 ・「思いこみ」や「同調」を乗り越えるために	男女共同参画推進室	(0739) 26-4936
	ドメスティック・バイオレンス2 - より良い援助のために -	30分	2005年	被害者支援に携わる援助者を対象に、基本的な心構え、留意事項や関連情報を提供している。実際に支援に携わっている人々の話し合いを軸に、より良い援助、適切な対応を考えます。	男女共同参画推進室	(0739) 26-4936
もっと 素敵に ハーモニー	30分	2005年	仕事一筋の主人公：博だが、ある日、博の父が怪我をしたため、しぶしぶ介護休業を取得して父の世話をする…。物語を通して性別役割分担(意識)について考える。	男女共同参画推進室	(0739) 26-4936	
セクシュアル・ハラスメント	24分	2006年	セクハラは減少するどころか一向に後を絶たないのが現状で、この作品は身体に触ったり、いやらしい話しをするなどの従来型セクハラではない事例を使って認識を新たにしていきます。	人権推進課	(0739) 26-9912	

分類	ビデオの名称	上映時間	所蔵年	主な内容	貸出担当課	電話番号
女性	大助・花子の男・女どっちが得？		2008年	男だから...女だから...、そんな固定観念の垣根を取り払って、一人の人間としていきいき生きることのできる社会、それが男女共同参画社会です。日々の暮らしの中で「変だな」「おかしいな」と感じたり、気づいたりすることから見つめ直してみましよう。当たり前と見過ごしていることの中に、性別を理由とした不合理な取り扱いや、固定的な見方が潜んでいることがあります。このビデオは、楽しみながら、暮らしの中にある問題点について考えていただけます。	男女共同参画推進室	(0739) 26-4936
	ドメスティックバイオレンスは犯罪です2005～改正DV防止法を使いこなそう～		2008年	改正DV防止法にもとづいて、サポートシステムはどう変わったのか、残されている課題は何か。実際のケースにそってつくられたビデオです。	人権推進課	(0739) 26-9912
	デートDV～相手を尊重する関係をつくる～	30分	2009年	デートDVは広くおきていて危険なケースも多いということがわかってきた。今後DV防止教育を始める学校や大学が増えていくことが予想される。しかし何からどうやって教えられるのかかわからないというのが教育現場の実情ではないだろうか。上映後クラスやグループで話しあうことなどもできる作品。	人権推進課	(0739) 26-9912
	女性の人権 夫の虐待は許さない！ 職場いじめは許さない！ 暴力は愛じゃない！ (DVD)	19分 19分 21分	2010年	見下した態度と言動で、妻の人権を傷つけながら、全く自覚のない夫。夫に従うのが自分の役割だと思いこみ、実際の暴力がないため、虐待だと気づけない妻だった...。 交際を迫りながら、断られた途端に始まる、職場いじめ・いびり。職場でプライベートな事情を打ち明けられず、追い込まれた女性社員は...。 親密な関係になって始まった、行動の制限や監視。最初は、それも愛だと信じたかった。だが、それはやがて、激しい暴力へと変わっていく...	人権推進課	(0739) 26-9912
子ども	NO！というのも親の愛	30分		子育てについて、昔の親・今の親	中央公民館	(0739) 26-4908
	虐待から子どもを守るために	55分	2001年	虐待が起こる背景など 虐待の実態、発見から援助まで	人権推進課	(0739) 26-9912
	孤立してませんか あなたの子育て	26分	2001年	子育てに悩む母親のドラマを軸に、現場の声を交えて地域の子育て支援の活動事例を紹介。	中央公民館	(0739) 26-4908
	親と子の対話	29分	2002年	いい子だったはずの子どもが、ある日突然非行に走る。拒食症になる。ひきこもりになる...。こんな思春期の子どもと一緒に乗り越える努力と、時には親が自分自身を変える柔軟性を持つことが大切であることを訴えます。	中央公民館	(0739) 26-4908
	いのち輝くとき	30分	2003年	深刻な社会問題となっているのが、親による子どもへの虐待です。特に地域社会から孤立している核家族の親が、家庭生活の中で様々なストレスを抱え込み、そのはけ口として抵抗できない子どもへの虐待を行っている場合が増えているのではないのでしょうか。その親と子どもを救うには、近隣の人々の温かい心と地域社会の支えが必要ではないのでしょうか。	人権推進課	(0739) 26-9912

分類	ビデオの名称	上映時間	所蔵年	主な内容	貸出担当課	電話番号
子ども	小さな叫び	30分	2003年	虐待問題について、他人事とっていませんか？	人権推進課	(0739) 26-9912
	あっ！危ない きみならどうする？	27分	2005年	最近、深刻な社会問題となっている小学生の誘拐・殺人。この作品では様々な場所で考えられる危険と対応を婦人警官が登場し、わかりやすく教えてくれます。	人権推進課	(0739) 26-9912
	ぜったい、ゆうかいされないぞ！	16分	2005年	誘拐や連れ去りに遭わないようにするためのスキルを子どもたち自身に身につけてもらうためのビデオ。	学校教育課	(0739) 26-9942
	みんなで作る地域安全マップ	14分	2005年	誘拐や連れ去りに遭わないよう、子どもたち・地域が街の危険な場所を見つけ・危険回避できる力をつけるための「安全マップ」づくりについての様子や解説。	学校教育課	(0739) 26-9942
	子ども連れ去り被害防止 ～地域で考える防犯～	22分	2005年	子どもが被害者となる凶悪犯罪が多発する現在。子どもを守るために一番大切なのは、大人が協力して、犯罪の起きにくい環境をつくること。地域の大人たちは、子どもを守るために何ができるのか考えます。	学校教育課	(0739) 26-9942
	セツちゃん	34分	2006年	高木家は父・雄介、母・和美、娘・加奈子の3人家族。ある日、加奈子がいじめにあう「セツちゃん」という転校生について話し出した…。	学校教育課	(0739) 26-9942
	お母ん、ぼく泣かへんで	41分	2006年	小川未明文学賞対象受賞 北岡克子作「ぼくって弱虫」の映画化作品。気が弱いのに、都合の悪いことは他人のせいにしてしまうやすお(小5)はいじめにあい不登校に…。	学校教育課	(0739) 26-9942
	名前... それは燃えるいのち	18分	2007年	桜が舞い散る、新学期。4年3組の新しい担任になったのは、姜 明子先生でした。元気いっぱいクラスのなかで、よりかと平吉に、姜先生は宿題を出します。「自分の名前のことを調べて、みんなの前で発表する二人の顔は輝いていました」。	学校教育課	(0739) 26-9942
	中学生のいじめを考える 被害者・加害者・観衆・傍観者	19分	2007年	いじめの四層構造、「被害者」「加害者」「観衆」「傍観者」。そのどこかに自分はいないか。どうして、じぶんたちは、そういう行動をとってしまうのか。しかし、その自分たちの行動は、他人の人権を踏みにじていることになるのではないのか。子どもたちにこれらの問題をわかりやすく提起することで、いじめの要因と構造を自覚させ、人権を考える契機を与えます。	学校教育課	(0739) 26-9942
いじめはゼッタイわるい！	12分	2007年	小学校・低～中学年向けの、いじめ防止アニメーション。 ハッキリといじめを嫌悪し、いじめに加担せず、ためらうことなく先生や親に知らせる…。そうした行動をとるための力を、幼い時期の子どもたちに植えつけます。たとえ今はクラスにいじめはなくても、高学年から中学生へと成長していくなかで、いじめと向き合わなければならない瞬間が、どの子どもにもきつと来るでしょう。その時、子どもたち自身が力を発揮するようにと考えています。	学校教育課	(0739) 26-9942	

分類	ビデオの名称	上映時間	所蔵年	主な内容	貸出担当課	電話番号
子ども	桃色のクレヨン	28分	2007年	美奈子の胸は期待でいっぱいです。自分より1歳年上の素敵なお姉さんに成長した雪に再会することがとても楽しみなのです。美奈子は雪のことを学校で一番仲良しの沙希や夏子にも自慢しますが、美奈子の前にあらわれた雪は、自分が想像していたよりも幼く見えました。「何かへんや?」。父から、雪には知的障害があることを知らされます。とまどった美奈子はそのことを隠すためにみんなに嘘をついてしまいます…。	学校教育課	(0739) 26-9942
	鬼の子と ゆきうさぎ (DVD)	22分	2009年	鬼の子と人間の女の子ユキとの不思議な友情の中から、私たちが忘れていた、やさしさや、おもいやりの心、家族のぬくもりが、あたたかい感動として伝わってきます。	人権推進課	(0739) 26-9912
小・中学生向け	しらんぷり	21分	1999年	いじめと対峙した少年の心の葛藤をリアルに描きだしています。親子で、クラスで観てください。話し合ってください。	学校教育課	(0739) 26-9942
	きいちゃん	21分	2002年	主人公きいちゃんは、身体に障害があっても、前向きにひたむきに生きています。その姿には、年齢を問わず多くの人共感できると思います。好きなことを見つけてそれを生涯の仕事にすること、懸命になって一つのことをやり遂げること。どちらも人として生きていく原点かもしれません。	学校教育課	(0739) 26-9942
	生きてます、15歳	22分	2002年	井上美由紀さんは、未熟児網膜症のため幼くして失明しました。お母さんは美由紀さんの自立を想い、厳しく育てます。甘やかす愛情ではなく、真正面から子どもと向き合う姿は、親と子のあり方を問い直し、強烈に心を揺さぶります。	中央公民館	(0739) 26-4908
	よーい ドン!	18分	2002年	子どもたちが友だちの違いを理解し、その違いを排除するのではなく受容していく「共生」の素晴らしさと、その根底にある人間の尊厳を描きます。また、団体競技を題材として正しい競争とは何かを描きます。	中央公民館	(0739) 26-4908
	みんなで跳んだ	13分	2002年	矢部ちゃんには軽い障害がある。運動会まで時間がない。大縄跳びはクラス対抗だ。勝つことを選ぶか、それともクラスの和か。クラスのみんなどは悩み、苦しみ、葛藤する…。ひとつの選択をする。そして、何かを飛び越えた…。	中央公民館	(0739) 26-4908
	盲導犬クイールの一生	25分	2002年	「人間らしい歩き方を思い出させてくれた」「盲導犬は、ただ道を教えてくれるだけとと思っていましたが、でも違いました。一緒にいるだけで気持ちを明るくしてくれる。友だちなんですね。」	中央公民館	(0739) 26-4908

分類	ビデオの名称	上映時間	所蔵年	主な内容	貸出担当課	電話番号
小・中学生向け	プレゼント	17分	2004年	子どもたちに、身近な問題であるいじめについて考えてもらうことにより、自分の大切さに気づき、さらに自分と同様に他の人の人権も大切であることに気づいてもらうために作成され、家庭・学校・地域で人権についての意識を育てるための教材。	人権推進課	(0739) 26-9912
	小・中学校のインターネットシリーズ 「インターネットはマナーが大切」	18分	2004年	インターネットはとても便利な道具ですが、使い方によっては危険な道具になることも事実です。このビデオではチャットや掲示板の書き込みのマナーや自分の安全は自分で守ることの大切さ、そしてトラブルに巻き込まれないための対策を解説します。	人権推進課	(0739) 26-9912
	「人権」ってなんだろう	14分	2004年	小学校での授業風景をとおして、人権について3つのテーマで学習する。 ・自分史から一人一人の存在について ・いじめについて ・人権侵害、差別について	学校教育課	(0739) 26-9942
	仮免許 練習中 (中学生以上向き)	30分	2004年	息子の交通事故をきっかけに自尊感情をなくした親子が、息子の職場体験学習で知り合った自転車店の老夫婦との触れ合いを通して職業について考え、自らの「誇り」を取り戻す過程を描いた作品。	学校教育課	(0739) 26-9942
	「私たちの人権宣言」 転校生はおばあちゃん!? (中学生以上向き)	50分	2005年	主人公(中学2年生)たちのクラスに74歳のおばあさんが転校してくる…。おばあさんとの交流を通じ「世界人権宣言」や「子ども権利条約」について学びなら、人権の基本である“命の大切さ”や“相手を思いやる気持ち”を育てます。	人権推進課	(0739) 26-9912
	あっ！危ない きみならどうする？	27分	2005年	最近、深刻な社会問題となっている小学生の誘拐・殺人。この作品では様々な場所で考えられる危険と対応を婦人警官が登場し、わかりやすく教えてくれます。	人権推進課	(0739) 26-9912
	エールを贈るバス	29分	2005年	直子(11歳)の母は、障害のある少女の心を傷つけてしまう。直子はすぐに気づき、心を傷つけた少女智香(8歳)に母と二人で謝りに行く…。直子と智香の友情を通して、障害者も健常者も同じ社会の一員として認め合う事の大切さを学ぶ。	人権推進課	(0739) 26-9912
	ぜったい、ゆうかいされないぞ！	16分	2005年	誘拐や連れ去りに遭わないようにするためのスキルを子どもたち自身に身につけてもらうためのビデオ。	学校教育課	(0739) 26-9942
	みんなでつくる地域安全マップ	14分	2005年	誘拐や連れ去りに遭わないよう、子どもたち・地域が街の危険な場所を見つけ・危険回避できる力をつけるための「安全マップ」づくりについての様子や解説。	学校教育課	(0739) 26-9942
	NITABOH(アニメ) 仁太坊 - 津軽三味線始祖外聞 -	100分	2005年	このアニメは、8歳で失明し、今に伝わる津軽三味線の独自奏法を生み出した主人公：仁太坊の少年期から青年期の成長の過程を史実とフィクションを交えて描いた物語。	学校教育課	(0739) 26-9942
生きること死ぬこと	22分	2006年	生と死の現場にいる実際の人々取材し、かけがえのない命の尊さを伝え、命を支える家族や周囲の人々の真摯な姿から命の大切さを訴える。	人権推進課	(0739) 26-9912	

分類	ビデオの名称	上映時間	所蔵年	主な内容	貸出担当課	電話番号
小・中学生向け	私は負けない	25分	2006年	いじめや部落差別に苦しんでいる児童が自らの力で、その不当性に立ち向かうことの大切さ、さらに無関心な層を、被差別の子どもたちを支える層に変えてゆくために、自分たちのもっている気付かざる差別意識や優越感に気付くことの重要性を描きます。	学校教育課	(0739) 26-9942
	くもりのち晴れ	40分	2006年	いじめによって言葉を奪われた幸子が、文化祭の劇の主役に選ばれた。先生や加奈子たちの励ましを受け、幸子は自分を表現する勇気を持ち始める。劇が出来上がるにつれ、ゆがんだ形でしか自分を表現できずにいたいじめグループも、次第に心を開き始めた。	学校教育課	(0739) 26-9942
	セツちゃん	34分	2006年	高木家は父・雄介、母・和美、娘・加奈子の3人家族。ある日、加奈子がいじめにあう「セツちゃん」という転校生について話し出した…。	学校教育課	(0739) 26-9942
	お母ん、ぼく泣かへんで	41分	2006年	小川未明文学賞対象受賞 北岡克子作「ぼくって弱虫」の映画化作品。気が弱いのに、都合の悪いことは他人のせいにしてしまうやすお(小5)はいじめにあい不登校に…。	学校教育課	(0739) 26-9942
	名前... それは燃えるいのち	18分	2007年	桜が舞い散る、新学期。4年3組の新しい担任になったのは、姜 明子先生でした。元気がいっぱいクラスのなかで、よりかと平吉に、姜先生は宿題を出します。「自分の名前のことを調べて、みんなの前で発表する二人の顔は輝いていました」。	学校教育課	(0739) 26-9942
	中学生のいじめを考える 被害者・加害者・観衆・傍観者	19分	2007年	いじめの四層構造、「被害者」「加害者」「観衆」「傍観者」。そのどこかに自分はいないか。どうして、じぶんたちは、そういう行動をとってしまうのか。しかし、その自分たちの行動は、他人の人権を踏みにじていることになるのではないのか。子どもたちにこれらの問題をわかりやすく提起することで、いじめの要因と構造を自覚させ、人権を考える契機を与えます。	学校教育課	(0739) 26-9942
	いじめはゼツタイわるい!	12分	2007年	小学校・低～中学年向けの、いじめ防止アニメーション。 ハッキリといじめを嫌悪し、いじめに加担せず、ためらうことなく先生や親に知らせる…。そうした行動をとるための力を、幼い時期の子どもたちに植えつけます。たとえ今はクラスにいじめはなくても、高学年から中学生へと成長していくなかで、いじめと向き合わなければならない瞬間が、どの子どもにもきつと来るでしょう。その時、子どもたち自身が力を発揮するようにと考えています。	学校教育課	(0739) 26-9942
	たぬきの恩返し	26分	2007年	自然を愛し、自然が与えてくれるやすらぎをたくさんの人に味わって欲しいと、奥山辰夫は妻と二人で人里離れた山奥で温泉旅館を経営している。しかし、その旅館が今大ピンチを迎えている…。そんな時、林道を横断しようとして車に跳ねられた狸を助けたことから物語りは急展開します。 私たち人間の世界では“恩返し”という言葉は私語になってしまったのでしょうか？	人権推進課	(0739) 26-9912

分類	ビデオの名称	上映時間	所蔵年	主な内容	貸出担当課	電話番号
小・中学生向け	桃色のクレヨン	28分	2007年	美奈子の胸は期待でいっぱいです。自分より1歳年上の素敵なお姉さんに成長した雪に再会することがとても楽しみです。 美奈子は雪のことを学校で一番仲良しの沙希や夏子にも自慢しますが、美奈子の前にあらわれた雪は、自分が想像していたよりも幼く見えました。「何かへんや?」。父から、雪には知的障害があることを知らされます。とまどった美奈子はそのことを隠すためにみんなに嘘をついてしまいます....。	学校教育課	(0739) 26-9942
	勇気あるホタルととべないホタル	17分	2007年	羽が縮んで飛べないホタルと、彼を励まし助け合う仲間のホタルたち。足が不自由で歩くことのできない妹の為に、ホタルを取りにやってきた姉と弟。 子どもたちとホタルのふれあいを通して、やさしさと思いやりの大切さを描きます。	人権推進課	(0739) 26-9912
高齢者	夫の定年、妻の定年	32分		実りある老後のために 男女の役割分担、退職後の危機	中央公民館	(0739) 26-4908
	おばあちゃんほほえみをもう一度	31分		高齢者の先輩国デンマークの実情を比較しながら、老後のあり方や家庭のあり方を考える。	中央公民館	(0739) 26-4908
	現代家庭考	34分	1994年	三世帯の家族を見て、家庭、家族のあり方を考える。	男女共同参画推進室	(0739) 26-4936
	おじいちゃんのトマト	39分	1996年	体の不自由な祖父の生きることへの情熱や考え方に触れ、命の尊さや相手の気持ちを思いやる優しさに気づいていく少年。	中央公民館	(0739) 26-4908
	老いを生きる	35分	2006年	誰もが通らなければならない老いの問題を自分のこととして捉え、日常生活の中で高齢者に対するやさしさや思いやりの心が、態度や行動に表れるような人権感覚を身につける作品です。	人権推進課	(0739) 26-9912
	社会福祉施設等における人権 私たちの声が聴こえますか (DVD)	30分	2009年	「ひとり芝居」を中心に「専門家による分析・解説」「具体的な取組事例」の3つの要素で構成されており、施設の運営に人権の観点が必要であることを強調する内容の作品。	人権推進課	(0739) 26-9912
	高齢者虐待 - 尊厳を奪わないために - (DVD)	26分	2010年	実例3話のオムニバスドラマで構成。田中荘司先生がドラマに沿って、介護の問題点と虐待防止の対応法をわかりやすく紹介します。 事例1 介護サービスを受け入れない 事例2 虐待の自覚がない 事例3 要介護状態を受け入れられない	人権推進課	(0739) 26-9912
障害者	風のひびき	54分	2000年	障害者に対する見方、とらえ方 介護のこと ほか	中央公民館	(0739) 26-4908
	「障害者」それぞれの暮らしそれぞれの自立	27分	2004年	近年、障害のある人々が健常者と同様に生活し、活動できるよう、行政による政策・環境面での整備が進められています。そうした流れの中で実際に地域社会へ出て、それぞれの暮らしを始めている障害者たち取材したもの。	学校教育課	(0739) 26-9942

分類	ビデオの名称	上映時間	所蔵年	主な内容	貸出担当課	電話番号
障害者	エールを贈るバス	29分	2005年	直子(11歳)の母は、障害のある少女の心を傷つけてしまう。直子はすぐに気づき、心を傷つけた少女智香(8歳)に母と二人で謝りに行く…。直子と智香の友情を通して、障害者も健常者も同じ社会の一員として認め合う事の大切さを学ぶ。	人権推進課	(0739) 26-9912
	NITABOH(アニメ) 仁太坊 - 津軽三味線 始祖外聞 -	100分	2005年	このアニメは、8歳で失明し、今に伝わる津軽三味線の独自奏法を生み出した主人公：仁太坊の少年期から青年期の成長の過程を史実とフィクションを交えて描いた物語。	学校教育課	(0739) 26-9942
	ステップ!	54分	2005年	障害のある女性：八重が自分の生き方を見つけていく中、まわりの人々が八重の障害について正しく理解する姿をとおして、障害者と共生する社会の実現について考える。	学校教育課	(0739) 26-9942
外国人	残された名刺 ~ある在日一世の軌跡~	30分		日本と韓国の近代史 民族の誇り	中央公民館	(0739) 26-4908
	夢の箱	50分	2000年	外国人に対する偏見、差別、いじめ	中央公民館	(0739) 26-4908
	日本に暮らす新来外国人	25分	2003年	日本に暮らす外国人の方や関係者の方たちの実際の声を交えながら、外国人の問題を考える。	人権推進課	(0739) 26-9912
	外からみたわたしたち - 外国の人からみた 徳島・日本 -	27分	2004年	日本に住んでいる外国の人たちは、私たちが「常識」としている日本の文化や習慣、そして制度に戸惑いや違和感を抱いたり、また自分たちに向けられる視線に差別性を感じ取っているかもしれません。外国の人から見た「私たち」を知ること、社会のもつ矛盾や人権問題を考え直すことができるのではないのでしょうか。	人権推進課	(0739) 26-9912
HIV・ハンセン病	風よ 雲よ 伝えてよ ~ HIV/AIDSと共に生きる ~	38分	2002年	AIDSの正しい知識 HIV / AIDSと共に生きる社会	人権推進課	(0739) 26-9912
	ハンセン病 剥奪された人権	25分	2002年	現在もハンセン病療養所に暮らす人々、院長及び関係者の証言を取材し、ハンセン病隔離の不幸な歴史と現在の状況を描きます。そして、現代に生きる私たちが、考えなければならない人権意識を問います。	中央公民館	(0739) 26-4908
	人として生きる - 長島の一年 -	21分	2005年	89年間続いた隔離政策が、岡山県邑久町(現：瀬戸内市)にある国立ハンセン病療養所、長島愛生円と邑久光明園で暮らす人びとの生き方をどう変えたのか、療養所で暮らす人びとの生活を一年にわたって撮影した記録。	人権推進課	(0739) 26-9912
犯罪被害者	犯罪被害者の人権を守るために	33分	2004年	犯罪被害者やその家族の人権の保護が社会的に重要な課題となっています。被害者の現状を広く伝え、人権について身近な問題として考えていきます。	人権推進課	(0739) 26-9912

分類	ビデオの名称	上映時間	所蔵年	主な内容	貸出担当課	電話番号
インターネット問題	小・中学校のインターネットシリーズ 「インターネットはマナーが大切」	18分	2004年	インターネットはとても便利な道具ですが、使い方によっては危険な道具になることも事実です。このビデオではチャットや掲示板の書き込みのマナーや自分の安全は自分で守ることの大切さ、そしてトラブルに巻き込まれないための対策を解説します。	人権推進課	(0739) 26-9912
	夕映えのみち	38分	2007年	インターネットは、人と人、人と情報をつないで豊かな社会を創る“文明の利器”です。その反面、使い方を一歩間違えると、人との絆を断つ凶器に変わってしまいます。インターネットの向こうには生身の人間がいます。もし、わが子がインターネットを使って他の人の人権を侵したら、逆にわが子がその被害者になり「いじめ」にあったら、あるいは学校や地域で同じ事件が起きたら...。「あなたなら、どうしますか?」と、私たちに問いかける作品です。	学校教育課	(0739) 26-9942
	ケータイ・パソコン その使い方大丈夫?	22分	2008年	中学2年生のマリ、ハルカ、トオル、そしてマリが小さかった頃からの知り合いで現在教師のトモコを中心に描かれます。トモコは、この作品の解説役をつとめます。主人公のマリは、メル友が100人ぐらいいて、ケータイを常に手放せない。プロフを持っていて、自分の写真を含め個人情報載せていた。そこにアクセスしてきた自称大学生のケンタロウと共通の話題を通して意気投合する。そして、頻繁にメールでやりとりするようになる。その後、会おうといわれて...	人権推進課	(0739) 26-9912
	ネットいじめから子どもを守る (DVD)	27分	2009年	インターネット特有の陰湿ないじめが、今、子供たちの中で急速に広がっている。次々に映し出される学校裏サイトや、誹謗中傷の言葉が書かれた携帯メールの画面...。ネットいじめから子供を守るためにはどうしたらよいのか。ドラマ形式で描いたネットいじめの事例を元に、ネットいじめが起こった時の対処法と、加害児童、被害児童、それぞれに対する最良の指導法を分かりやすく解説しています。	人権推進課	(0739) 26-9912
職場の問題	セクハラと女性の人権	24分	1998年	男と女の認識の違い	中央公民館	(0739) 26-4908
	ストップ! 職場のセクシャルハラスメント (従業員編)	25分	2002年	セクハラとは セクハラが起こりやすい要因 職場づくりで大切なこと など	男女共同参画推進室	(0739) 26-4936
	ストップ! 職場のセクシャルハラスメント (管理職編)	27分	2002年	女性社員の声 事業主が配慮すべきこと 管理職の心構え など	男女共同参画推進室	(0739) 26-4936
	さようなら、職場のセクシャルハラスメント	27分	2002年	セクハラとは セクハラのできる原因、防止策等	男女共同参画推進室	(0739) 26-4936
	それぞれの明日	50分	2002年	企業内での差別落書き 人権を大切にしたい職場づくり	人権推進課	(0739) 26-9912
	一人ひとりの心は今!	34分	2002年	えせ同和行為に対する対応 職場での障害者対策	人権推進課	(0739) 26-9912

分類	ビデオの名称	上映時間	所蔵年	主な内容	貸出担当課	電話番号
職場の問題	男女共同参画時代のセクシャル・ハラスメント(全2巻)	22分 20分	2005年	セクシャル・ハラスメントの対策事例 行政としての取組例(福井県武生市)、企業の取組例(河合塾) ケースで考えるセクシャル・ハラスメント セクハラを生む3つの原因ほか	男女共同参画推進室	(0739) 26-4936
	セクシュアル・ハラスメント	24分	2006年	セクハラは減少するどころか一向に後を絶たないのが現状で、この作品は身体に触ったり、いやらしい話しをするなどの従来型セクハラではない事例を使って認識を新たにしていきます。	人権推進課	(0739) 26-9912
	企業に求められる人権意識とは?	24分	2007年	企業が社会の中で果たすべき責任はますます大きくなっています。企業には、単に利潤だけを追求するのではなく、より良い社会を築くために努力することが求められています。安全で安心な社会を作るためには、企業の社会的な取り組みは不可欠です。特に、優れた人権意識を持つことは企業が成長するためには必須の条件です。この作品は、企業に求められる人権意識のあり方を、若い社員の目を通してわかりやすく描き、問題提起するものです。	人権推進課	(0739) 26-9912
	職場の人権 ～相手の気持ちを考える～	27分	2008年	社員相談室・新人相談員の佐藤が、様々な職場で起こるトラブルや悩みに遭遇することによって、「相手のきもち」を考えるとどういことなのかを理解していく過程をドラマ仕立てで描く。 この作品は、一連のドラマの中に6つのテーマを内包している。職場で身近に起こりえるパワハラやセクハラ、コミュニケーション不足が原因のトラブルを描くことで、そこにある意識のズレと問題点を提示してゆく。	人権推進課	(0739) 26-9912
	パワー・ハラスメントと人権 - 見直そう、職場と家庭の人間関係 -	43分	2008年	経済構造の変化によりストレスや葛藤を抱え、余裕のない職場。人々の余裕のなさや傷ついた感情は、職場や家庭で自分より弱いと認定した誰かに対する攻撃へと、そのはけ口を求める。 職場において行われる精神的な暴力であるパワハラを、家族との関係やその影響も含めて被害者と加害者双方の視点から描く。	人権推進課	(0739) 26-9912
	「社内いじめ」とパワー・ハラスメント 明るく健全な職場づくりのポイント(全2巻)	各巻 25分	2008年	パワハラは、企業などの組織にとって、人権啓発、コンプライアンス、メンタルヘルス、リスクマネジメント、CSRといった面からも、あってはならない人権侵害行為です。 このビデオは、全従業員が気持ちよく働ける職場環境を作っていくために、そして、取引先担当者に対してリスペクトの念を欠かさない誇り高い従業員を育成するために欠かせないパワハラ/社内いじめ対応のポイントを分かりやすく解説します。	人権推進課	(0739) 26-9912

分類	ビデオの名称	上映時間	所蔵年	主な内容	貸出担当課	電話番号
職場の問題	改正均等法とセクハラ早分かり(全2巻)	各巻 20分	2008年	男女雇用機会均等法は、今回の改正で、ここ数年の社会情勢の変化を踏まえた、少子化対策、女性の人材流出、女性活用、両立支援などの視点を盛り込んだ法律に大きく生まれ変わりました。具体的には、「間接差別」「妊娠・出産の不利益取扱い」「男性へのセクハラ」「派遣社員など正社員以外へのセクハラ」「是正指導に従わない企業の公表措置」といった要素が新たに付け加わっています。 このビデオはこうした男女雇用機会均等法の要点や前回改正からの変更点などをドラマ仕立てで分かりやすく解説します。	人権推進課	(0739) 26-9912
	メンタルヘルスと人権 ～あなたの心の声を聞いていますか～ (DVD)	30分	2009年	メンタルヘルス(心の健康)ケアの重要性を気付かせてくれるビデオです。活き活きと働ける職場づくりを実現するためのセルフケアと職場のラインケア、また家族の関わり方を考えます。	人権推進課	(0739) 26-9912
	私が私らしくあるために 職場のコミュニケーションと人権 解説書付き(DVD)	26分	2009年	この作品では「人権侵害」と呼ぶような「事件」が描かれているわけではありません。そこにあるのは何の変哲もない、いつでも、どこにでも見られる職場の日常の光景です。その中にあるちょっとしたコミュニケーションの失敗が仲間を傷つけてしまうことがある...。見つめてみませんか、職場のコミュニケーション。あなたがあなたらしく、私が私らしくあるために。	人権推進課	(0739) 26-9912
	元気な職場をつくるメンタルヘルス3 ストレスと上手につき合う方法 ストレス時代のラインによるケア エゴグラムチェックシート付き(DVD)	24分 25分	2010年	セルフケア用 同僚・後輩・取引先などとの、日常的なコミュニケーション不全の事例から、どのようなエゴグラムの傾向がストレスとなるのかを解説し、誰にでもすぐできるタイプ別の解決策を紹介。 ラインによるケア用 管理職のコミュニケーション不全は職場にどのような影響をもたらすのか?どのような管理職が自分自身のみならず周囲のストレスとなるのかを解説し、そのエゴグラムのタイプ別の解決策を具体的に紹介。	人権推進課	(0739) 26-9912
その他	ワークショップは技より心	26分	2002年	最近の人権啓発活動や研修で、体験的参加型の手法として注目されている、ワークショップのプログラム導入のための実践ビデオ。専用ガイドブック(55ページ)が付いています。	人権推進課	(0739) 26-9912